

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)



2018年10月3日

29年連続でグッドデザイン賞を受賞

○創立 50 周年記念商品第 2 弾の工業化住宅「CENTURY Primore 3」が受賞
○5 点が受賞、累計受賞数は住宅業界ナンバーワンの 151 点に

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）は、2018 年度グッドデザイン賞（主催 公益財団法人日本デザイン振興会）を、工業化住宅「CENTURY Primore 3」や障がい者グループホームを核としたコミュニティ「cha-cha town（チャチャタウン）」など計 5 点で受賞しました。これにより、1990 年の初受賞以降、住宅業界唯一の 29 年連続受賞となり、住宅商品 54 点をはじめ、住宅関連部品や個人邸など累計 151 点の受賞数は住宅業界でナンバーワンの実績です。

ミサワホームは創立当初から、住まい手の家族構成や趣向が変わっても豊かに暮らし続けられる住まいを目指し、高いデザイン性と機能性を両立させた「シンプル・イズ・ベスト」というデザインポリシーのもと、商品やサービスの開発に取り組んできました。

今回のグッドデザイン賞では、ミサワホーム創立 50 周年記念商品第 2 弾として開発した工業化住宅「CENTURY Primore 3」や、障がい者グループホームを核として、その家族や保護者、高齢者、勤務スタッフが住まう新しいコミュニティ「cha-cha town（チャチャタウン）※1」、古都鎌倉の風景に根ざした記憶をつなぐデザイン住宅「KAMAKURA-SOU」が受賞しました。そのほか、構造体と内外装材や設備、間仕切り壁を完全に分離した木質スケルトン・インフィル構造「木質組立通し柱連結構造」※2 と、築 36 年の専門学校の校舎を賃貸共同住宅へ用途変更したリファイニング建築「ASPRIME 千代田富士見」※3 が共同受賞しました。

ミサワホームはグッドデザイン賞の受賞実績にも裏付けられた「デザインのミサワホーム」をこれからも積極的に訴求するとともに、今後も「『住まいを通じて生涯のおつきあい』という精神のもと、良質の『住まい』を提供し、豊かな社会づくりに貢献します」というコーポレートスローガンに基づき事業を推進していく考えです。

※1 介護サービスを提供するものではありません

※2 株式会社ミサワホーム総合研究所及び明治大学との共同受賞

※3 株式会社青木茂建築工房との共同受賞

■2018 年度グッドデザイン賞受賞内容

・工業化住宅「CENTURY Primore 3」

ミサワホーム創立 50 周年記念商品第 2 弾として開発した都市型 3 階建て住宅です。120mm 厚の木質パネルによる「センチュリーモノコック」構法の採用により、都市部の限られた敷地の中でも高断熱と開放性、高耐震と大開口を両立しています。斜線制限や日影制限に対応した急勾配屋根と太陽光パネルをより多く搭載できる緩勾配屋根を組み合わせる「異種勾配屋根」を開発し、法規制をクリアしつつ都市部でも容易に ZEH を実現します。また、住まい手同士や住まい手と地域との関係性をつくる、外に開かれた中間領域「リンクハブ」を 1 階土間空間に計画することで、コンパクトシティ化による多世帯同居や賃貸併用住宅などの都市部における多様なライフスタイルに対応しています。

受賞にあたっては、土間空間に設けた「コミュニケーションポーチ」と「リンクハブ」により、地域に開かれうる空間を住宅に内包するという試みが高く評価されました。また、住宅部分では、気積を生かした伸びやかな空間が実現されている点も評価いただきました。

※ニュースリリース：https://www.misawa.co.jp/corporate/news_release/2018/0413/



外観



リンクハブ

・障がい者グループホームを核としたコミュニティ「cha-cha town (チャチャタウン)」

千葉県富津市の「cha-cha town」は、“共生”をテーマにした、くつろぎと安心を提供できる新しいコミュニティです。障がい者グループホームを核として、その家族や保護者、高齢者、勤務スタッフが住まうシェアハウス等、計 6 棟の建物を配置しました。地域共生型コミュニティとして高齢者や勤務スタッフが住まうことで、社会とのつながりを感じ地域社会に溶け込みやすい環境を形成しています。敷地の中心にはくつろぎの空間となる中庭や、野菜の成長や収穫を体験できる家庭菜園を設け、コミュニティ内の交流促進を図っています。また、建物間の行き来のしやすさや歩くことの楽しさに配慮したフットパスや築山、共用 LDK であるコミュニティ食堂などのゆとりのある共用空間も提供しています。

受賞にあたっては、中庭を囲む複数棟でグループホームを構成するという在り方が興味深く、敷地外周はまちに開かれており、敷地内には 3 棟のグループホームと家族・スタッフ用住居が配置され、地域に開かれた障がい者が安心して過ごせる「小さなまち」をつくるプロジェクトであり、大変意欲的であると評価されました。

※ニュースリリース：https://www.misawa.co.jp/corporate/news_release/2017/0803/



中庭



6 棟の建物によるコミュニティ

・個人邸「KAMAKURA-SOU」

古都鎌倉の風景に根ざした、記憶をつなぐデザイン住宅です。古くからそこにある大きな桜の木を地域の方々と共有するように、通りから桜の木につながる中間領域に半屋外空間を設けています。そこには裸足でも気軽に踏み込むことができる木製のデッキと長さ 11m の木製ベンチを設けており、風景との一体化のみならず、地域との交流も生まれやすい空間としています。また、自然石のようなラフなテクスチャーの大きな壁面や、内外に連続した杉板の天井材、自然と一体化した木窓など、自然素材の持ち味を生かした品格のあるディテールとしています。

受賞にあたっては、桜の木と通りを繋ぐ半屋外空間が魅力的で、そこにベンチが設けられており地域の人が気軽に集えそうな点、コミュニティを育む場を積極的に作ろうとしている点を評価いただきました。

※社内の高級住宅の建築デザインや設計を行うプロジェクトチーム CDO（センチュリーデザインオフィス）が設計を担当

※Web サイト：<https://www.designers.misawa.co.jp/example/index.cgi?id=2529>



フラットバーの門扉越しに見る桜



半屋外空間

・木質構造「木質組立通し柱連結構造」

この木質構造は、高強度の木質接着複合パネルをボックス形状に組み立てた中空構造の柱と、その柱同士を連結する梁及び屋根面のみを構造体として用いているため、大空間設計が可能です。床を構造体にせず、また連結梁の高さを自由に設定できることから、吹き抜けやスキップフロアなどが作りやすく、ライフスタイルやライフステージに合わせた間取りの変更が容易で、将来設計への対応もできます。

受賞にあたっては、梁レベルが自由に設定でき、床を構造体にしなため、スキップフロアや吹き抜けが作りやすく、設計の自由度が高いと評価されました。また、リノベーションやコンバージョンが容易にできるため、良質なストックとして非常に価値の高いもので、木構造の可能性の一つを示した意義のあるプロジェクトであるという評価もいただきました。

※株式会社ミサワホーム総合研究所及び明治大学との共同受賞

※ニュースリリース：https://www.misawa.co.jp/corporate/news_release/2017/0330/



構造体



内観

・リファイニング建築「ASPRIME 千代田富士見」

築 36 年の専門学校の校舎を賃貸共同住宅へ用途変更したリファイニング建築です。既存建物の躯体を再利用し、補強や補修を施し現行法レベルの耐震性や耐久性を確保するとともに、大胆な意匠転換や用途変更、設備の一新を行い、現代のライフスタイルに合わせたバリアフリー化やエレベーターの新設をしています。さらに、確認済証や検査済証を取得することで、新築同等の信頼性が担保されます。

受賞にあたっては、前の姿が全く想像できないほど、デザイン・機能・性能が一新されており、特に外観は大胆な変貌を遂げていると評価をいただきました。さらに、確認申請を行うことで、既存建築の価値を新築同等まで引き上げていることも興味深く、このような優れたプロジェクトが先駆けとなり、既存躯体再利用の流れが加速することを期待するとの評価をいただきました。

※株式会社青木茂建築工房との共同受賞

※ニュースリリース：https://www.misawa.co.jp/corporate/news_release/2017/0621/



リファイニング前



リファイニング後

■グッドデザイン受賞展「グッドデザインエキシビション 2018」

会 期：2018年10月31日（水）～4日（日）

開催時間：11：00～20：00

※最終日は11：00～18：00

会 場：東京ミッドタウン内各所（東京都港区赤坂 9-7-1）

■ミサワホームのデザイン（特設サイト）

U R L：<https://www.misawa.co.jp/design/>

以 上

＊この件に関する問い合わせ先＊

ミサワホーム(株)経営企画部コーポレートコミュニケーション課

奥本博之 大倉海人

TEL 03-3349-8088 / FAX 03-5381-7838

E-mail：Kaito_Okura@home.misawa.co.jp